

令和 7 年度 第 1 回桜島支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和 7 年 7 月 31 日 18 時～19 時 30 分
場 所	桜島支所 2 階大会議室
出 席 者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	○協議事項 ① 令和 5～6 年度の事業報告 ・地域の飲食店等の連携による魅力発信 ・桜島の魅力体験に取り組む地域団体の支援 ・デジタル化による生活利便性の向上 ② 令和 7 年度以降の取組
主な意見等	① 令和 5～6 年度の事業報告 ・地域の飲食店等の連携による魅力発信 【各委員からの意見】 ○インスタを見て来たという方もいて、マルシェは知ってもらうという広報の面において良い取組。 ○自走するためのノウハウが無いので、チェックリストやさくら市の開催の記録、会場使用料などの情報があれば役に立つ。 ○東白浜のバス停は乗り継ぎ場所となっているが 2 時間ほどの空き時間が生じる。近くの飲食店が空いている時はいいが、観光客を案内できるガイドの配置など何か対策できれば。⇒案内マップの作成など（支所提案） ・桜島の魅力体験に取り組む地域団体の支援 【各委員からの意見】 ○課題は移住者の実績がまだ無いこと。お試し住宅に関する取組を強化する必要がある。 ○移住のポイントは、自分たちで稼げるという環境と住みたいと思った際の家。 ・デジタル化による生活利便性の向上 【各委員からの意見】 ○昨年と比べるとちょっとマンネリ化している。暑くて外に出られない高齢者もいるので、今後改善の余地があると思う。 ② 令和 7 年度以降の取組 【各委員からの意見】 ○今後、自立してイベントをやろうという時に、会場使用料やかかる経費などよく分かっていないので、どのくらいかかるか共有しておいた方が良い。 ○インバウンド等すごく増えているが、ターミナル周辺で手持無沙汰だったり、アイランドビューに乗れなかった後、何をすればいいかわからずウロウロしている人をよく見かける。案内所以外にも、そういう時に案内できる人がいればいい。 ○道の駅で、商品や農産物を説明しながら販売することで売上が上がった。同じように桜島の人たちやガイドなど、みんなで桜島を紹介できれば桜島の魅力が伝わるのでは。 ○協力隊の方は地域の人と関わりを持つのでガイドになってもらうのも良い。 ○海の幸をもっとアピールしても良い。 ○観光客は桜島の人は何を食べているのだろうと普段の生活における食べ物にも興味がある。

- 桜島学校ができるが、学校で桜島のことについて勉強することが学校にとっても子供たちにとっても良いことで、ガイド育成の役に立つかもしれないと思う。
- 果実がそのまま残された遊休農地が増え、サルの被害も増えている気がする。
- 個人で出店したい方やオリジナルの商品を置きたい方がいれば、ミナトカフェの物販スペースを自由に使っていいので相談いただきたい。

【地域活性化アドバイザー】

- 飲食店連携は、桜島にどんな飲食店があるのか分からないというところから始まり、自分たちでマルシェを開催できるとこまできている。これが続けていくことが大事で、必要であればイオンも利用してもらえれば良い。
- iko てらすについては、1,2回の訪問で移住は決められないので、リピーターを増やす取組をお願いしたい。
- スマホ教室については私も参加したが、隣の人と教え合うという良い流れができている。子供と高齢者がスマホや昔話を教え合うという関係性ができると良い。
- 7年度以降の取組について、空き家対策や農業の産業化は必要な取組だと思う。難しいことだが、自分たちで作って自分たちで売るという形ができると良い。桜島のものは魅力的なのでいかに付加価値をつけるかということが大事である。